

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱		
工期	2024年4月1日 ~ 2025年3月31日		作成者	小瀬 裕之		
作業名称	事故復旧作業 デザイン高欄ビーム取替工	作業手順書	作成年月日	令和3年8月26日		
使用機械 使用設備	4tユニック、Wキャブ、連絡車、トイレカー		改正年月日	令和6年7月24日		
			現場責任者			
使用工具、機器	工具：ラチェット、モンキーレンチ、右頭ハンマー、吊具(帯、ワイヤー)、バケツ(ボルト類を入れる)、		協力会社	※社名		
	機械：インパクトレンチ、ドリル、サンダー		協力会社責任者	※自筆サイン		
保護具	ヘルメット、安全靴、防護メガネ、マスク、防護手袋(刃物作業時は耐切創用)、視認性の良い作業着		作業順序			
材料	横梁(L=2990)、スリーブ(L=360)、中間スリーブ(L=100)、横梁用回転防止板付きボルト、支柱用回転防止板付きボルト					
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特)の区別を記す	自動車運転免許証(大型もしくは中型) 特別教育:職長・振動工具取扱 技能講習:玉掛け・小型移動式クレーン					
作業人員	作業責任者 1人、作業員 4人 合計 5名					
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日			1 準備作業	
	(役割を確認してこの作業に関わる全員が自筆サインする)				2 現場確認	
					3 損傷した横梁の撤去	
					4 新規横梁の設置	
					5 後片付け	

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能 性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対する周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対する指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対する指示 1=関係者に対する周知

作業項目 (誰が)	手順 主なステップ	急所 作業のポイント	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	レベル ミス・ロス	リスクの除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
準備作業(全員)	朝礼・KYK 作業箇所確認 周辺安全確認 (埋設物・構造物)		健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。 工事車両幕がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。 担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。 車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。					
現場確認	作業箇所確認 周辺安全確認 (埋設物・構造物)							
損傷した横梁の撤去	①取付ボルトの取り外し	ボルトの取り外し	取付ボルトを取り外す際に、横梁からボルトを落下させる。	△	×	△×	4	安 ボルトを取り外したら周囲に置かず、バケツ等に入れる。 照明器具により現場をあかるくたもつ
	②スリーブをずらし横梁との連結を解除	連結を解除	横梁との連結を解除する際に、思いもよらないタイミングで横梁がフリーになり、足元に落下する。	△	×	△×	4	安 連結を解除する際はあらかじめ横梁をユニックで吊り、落下しないようにする。
	③横梁の撤去	ユニックで横梁を撤去	横梁をユニックで移動させる際に、周囲の構造物や作業員と接触する。	△	×	△×	4	安 ユニックを操作する前に、旋回する範囲を確認し声掛けを行った後に操作を行う。
新規横梁の設置	④横梁にスリーブを設置	横梁の中にスリーブを設置する。						
	⑤横梁の移動	ユニックで横梁を設置箇所まで移動	③のリスクと同様					
	⑥スリーブをずらし横梁と連結	スリーブをボルト孔の位置が合うまでずらす						
	⑦取付ボルトの設置	ボルトを締め、回転防止板を曲げる	ボルトを締める際に、回転防止板で手を負傷する。	△	△	△△	3	安 手元を確認しながら慎重に締付を行う。その際手袋は必ず着用する。
後片付け(全員)	⑧発生材の積み込み	ユニックもしくは人力で、荷台に発生材を積み込む	積み込みを行う際に、荷台の物を足で引っかけ転倒する。	×	○	×○	3	安 積み込む前に荷台を整理し動線を確保する。
	⑨清掃作業を行う	ほうき、フロアー等で清掃する						
	⑩現場離脱	工事車両幕を取外した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事						